

高校における通級による指導の導入について

「高等学校における特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議」は、平成 27 年 11 月以降 6 回にわたって議論を行ってきました。パブリックコメントを経て、平成 28 年 3 月 31 日に「高等学校における通級による指導の制度化及び充実方策について（報告）」が出されました。報告によれば、平成 28 年度から制度設計を進め、平成 30 年度に制度の運用開始とされています。

下記のHPから報告書をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/03/1369191.htm

なお、現在中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会で学習指導要領改訂の議論が行われており、その中で「学習指導要領への位置付け、単位認定・学習評価の在り方、高等学校教育の共通性と多様性のバランスを踏まえた単位数の在り方といった論点」について検討する必要があるとされています。

文科省の「次期学習指導要領改訂に関する今後のスケジュール（予定）」によれば、

- ・ 審議のまとめを行い、平成 28 年度内に中央教育審議会として答申
- ・ 告示を行った後、幼稚園は周知を経て平成 30 年度から実施予定
- ・ 小・中・高等学校は、周知、教科書の作成及び検定・採択等を経て、小学校は 32 年度から、中学校は 33 年度から全面实施
- ・ 高校は 34 年度から年次進行により実施予定とされています。